

筑波大学 社会・国際学群 社会学類

平成29年度 推薦入学試験

筆記試験問題冊子

(注意事項)

1. 問題冊子1部、解答用紙2枚が配られているか、確認してください。
2. 解答用紙の所定欄に、受験学群・学類、氏名、受験番号を記入してください。
これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
3. 解答用紙については、下書き用紙をはずして使用してください（下書き用紙は回収しませんので、自由に使って結構です）。解答は、原則として横書きとします。なお、表題をつけるかつかないかは、解答者の判断に任せます。

【問題】

現在、日本では、法律によって、夫婦は婚姻の際に夫または妻の氏（姓）を称するものと定められている（夫婦同姓制度）。一方で、夫婦がそれぞれ婚姻前の姓を選択することもできる（選択的夫婦別姓制度）などの選択肢が用意されている国もあり、わが国でも夫婦別姓制度の導入について議論がされている。以下の2つの記事を読み、今後の婚姻後の姓の在り方について、法的、社会的、その他の様々な観点から、それぞれの制度のメリットとデメリットを挙げつつ自由に論じなさい。なお、どちらの立場を選択しても、評価には関係ありません。（1200字以内）

【記事 1】

(朝日新聞デジタル 2015 年 12 月 16 日 一部抜粋)

【記事2】



(朝日新聞デジタル 2016 年 10 月 11 日 一部抜粋)